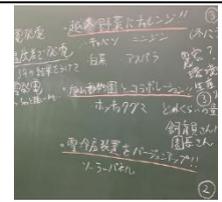


I 学習の様子

【課題の設定】2025年 1月～3月

前年度から取り組んでいる「雪の保存」について、地域貢献という視点から自分たちにできることについて意見を出し合い、大きく3つの目標を設定しグループ分けを行った。



【情報の収集】4月、5月

雪冷房装置を改良するためにICTを活用し必要な情報収集を行った。また、地域貢献の視点で旭山動物園にどのような形で貢献ができるのかを話し合い、設定した課題についての理解を深めた。



【整理・分析】6月、7月

雪冷房装置を使った実験を行った。校内での予備実験では、使用した教室、冷房装置、時間、温度等をデータにまとめ、分析を行った。また、旭山動物園で屋外での実験を旭山動物園職員と行い、テント内外の温度や湿度の変化についてデータでまとめ、分析や考察、次回に向けての意見を出し合った。



【まとめ・表現】10月～12月

学校祭において、全校生徒、教職員、来場者に対し、今年度の取り組みを発表した。また、活動内容を紹介するチラシを作成し配布した。



II 探究活動の成果

- ・探究活動を通して、地域課題に興味・関心をもつことで自分事として捉えることができた。また、その過程で得た気付きや考えを相手に伝わるよう自分の言葉で説明したり、多様な視点からの質問に対して自分の考えを整理しながら答えたりする力が高まった。
- ・他校の発表や他者の意見を見たり、聞いたりしたことで、自分たちにはなかった新しい気付きを得ることができた。多角的な視点から自分たちの活動をよりよいものにしていく工夫やアイデアを出し合う力が育かれた。
- ・定期的に普通科全学年で活動する時間を設けたことで、他学年と協力して取り組むことができ、自分たちが取り組んできたことや、やり残したことを伝える力が育かれた。

III 今後に向けて

- ・これまでの継続した活動以外に新たな視点での取り組みを考える必要がある。
- ・「ゼロカーボン」に向けた取り組みを具体的に進める。
- ・外部協力者とのつながりを強化する。